

布施だより

《 ちゃんと耳を傾ける ～ 南長野ブロック人権教育研究協議会から ～ 》

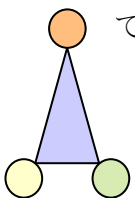
11 月 7 日 (火) には本校を会場に「南長野ブロック人権教育研究協議会」が開催されました。この研究協議会は南長野地区の小・中・高の異校種間の人権教育を通じての研修交流が目的です。公開授業では 2 年 5 組の諸君がワークショップから人間関係作りの追究に向かってくれました。

主眼「特定の生徒と関わることができるが、クラス内での関わりが少ないため、多くの友人と協力したいと願い始めた生徒達が、見た絵の情報を分かりやすく伝え、仲間と協力して絵を完成させていくグループ活動を通して、仲間と協力する良さを感じ、仲間の良さを認め合うことに喜びを感じることができる。」で始まった授業のスタートで、まず 5 組諸君の背筋のまっすぐさに目がいきましました。授業者の重田先生の説明に腰骨を伸ばして聴き入る姿勢に、吸収力をものすごく感じた導入でした。3 人 or 4 人グループが机を合わせ、ボードの裏に隠された図形や記号が描かれた絵を、短時間で見、それを描く役割を担ったひとりの生徒に伝えていく。同じ絵を見ているのだから、情報が集約されて整理されていくはずなのに、そこは微妙に伝達が混乱する。



この混乱を微調整しながら、ボードの裏の隠された (とは言っても、知らないのはただひとり描く生徒なのだけれど) 絵をより正確にコピーしようとしていく。その過程で生徒達は盛んにつぶやきます。「右に△2 つつけて」「△の上に△乗せて」「こっちの△を大きく」と隠された図形を言葉で伝えようとします。前の仲間の情報になんとか蓄積を加えようと、とにかくつぶやかざるをえません。図形を言葉で説明することに、もどかしさを覚えた生徒は、指で指し示し「ここ、ここつなげて!」と、とうとう指で描いちゃいます。(この必死さがいい!) そして、伝えたいことが正確に伝わってきていると実感した生徒は嬉しそうに描いていきます。

伝えたい事柄があって、ちゃんと耳を傾けてくれる相手と仲間がいれば、笑顔で伝え合うことができるんだと改めて感じました。



グループの中にあつたそれぞれの支え合いとつぶやきこそが、この時間の最大の収穫でした。

《 世界を見て ～ 石家荘市訪問から ～ 》

長野市中学生友好訪中団〈石家荘市訪問〉に2年2組の依田夏さんが参加をしてくれました。中国訪問を通じてアジアの一員としての、世界の一員としての日本を見つめ直す良き機会を得てくれました。以下は長野市と友好姉妹都市関係を結んでいる石家荘市の中学校を訪れた様子を、依田さんがリポートしてくれます。



長野市友好都市訪中団に参加して 依田 夏

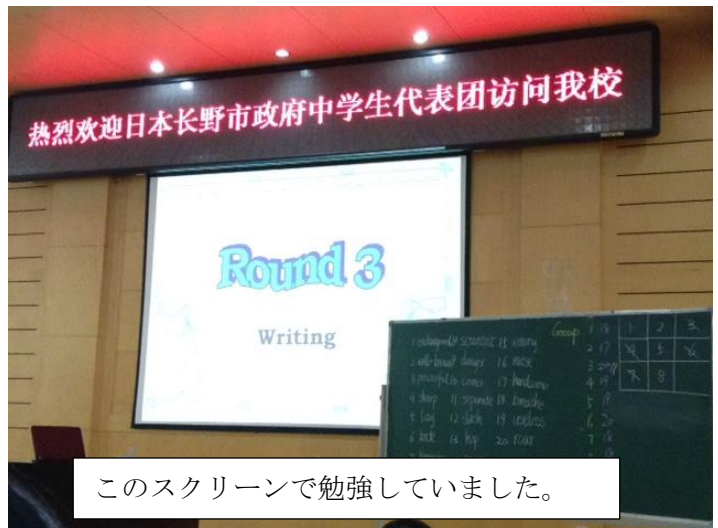
私は、11月1日～11月9日まで長野市の友好都市訪中団として中国の北京市と石家荘市へ行ってきました。

長野市と石家荘市は、約30年前から友好関係を結んでいます。

北京市では万里の長城など観光名所を回り、石家荘市では学校交流をしました。その中で、私が一番心に残ったのは石家荘市にある第四十二中学校との交流です。この中学校では、二年生の英語の授業に参加しました。

1クラスの人数は50人位いて、私達より2倍も大きい教室で授業をします。

人数の多さにも驚きましたが、一番驚いたことは英語力の高さです。発音がとても上手で、授業は英語だけで進めていきます。今までに経験したことのない英語の授業を体験することができましたが、訪中団の私達は残念ながらほとんど聞き取ることができませんでした。こうした授業1つをとっても、日本と中国の中学生の学習の違いを感じる事が出来ました。



このスクリーンで勉強していました。

町のどこへ行ってもたくさんの人があふれ、買い物の時には金額をねぎることができ、提示額よりも安くしてもらうなど、日本との違いに驚くことばかりでしたが、中国へ訪中し、たくさんの人と交流して日本ではない世界を見て、以前の私とは全く別の考え方を持てるようになりました。

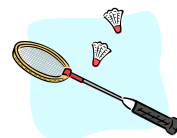
私を中国へ送りだしてくれた家族、友達、先生方、そして9日間一緒に過ごした11人の訪中メンバーに感謝の気持ちでいっぱいです。

ありがとうございました。

「たくさんの人と交流して日本ではない世界を見て、以前の私とは全く別の考え方を持てるようになりました。」の感じ方に、国際性を身につけようとする可能性が溢れています。人と人が関わることの価値、広い世界を見つめることが改めて日本を理解し直すことにつながり、自身を成長させることにつながるのだということ、多くの価値をじかに肌で感じ取って来てくれたんですね。

《 秋の収穫です！ 》

〈男子バスケ〉	北信 1 回戦 対犀陵 ○81—34	2 回戦 対高山○76—41
	3 回戦 対広徳 ○67—57	準決勝 対三陽○52—51
	決勝 対川中島●48—89	準優勝
〈女子バスケ〉	北信 1 回戦 対墨坂中○67 対 19	2 回戦 対戸倉上山田中 ●42 対 43
〈男子バレー〉	北信 1 回戦 対川中島中 ●1—2	
〈女子バレー〉	北信 1 回戦 対城北 ●0—2	
〈バドミントン〉	東北信女子団体 2 位	
	ダブルス 2 位太田捺美香さん、岡村彩里さん	
	シングルス 3 位水上沙蘭さん、 4 位田中愛さん	



〈 地震発生に関する生徒の安全確保について 〉

22 日（土）夜の地震発生に関して、学校では地震直後校舎内を点検し異常がないことを確認いたしました。また翌朝、明るくなったところで校舎内外を再点検したところ地震による影響がないことを確認しています。25 日（火）現在、生徒やご家族の怪我や倒壊等大きな被害報告を受けていません。しかし、市内の場所によっては、ブロック塀が倒壊したり、本棚が倒れたりするなどの被害を聞いています。気象庁の発表によりますと、「しばらくマグニチュード 5 程度の余震に注意すべき」とのことです。以下のことを学校でも生徒たちに指導していきます。ご家庭においても生徒の安全確保に今後ともご協力よろしくお願いたします。

〈 地震発生に関わる児童生徒の安全確保について 〉

- (1) 地震が発生した際の避難方法や心得を再確認しました。その際に、授業時や休み時間、昼食時等、これまでの避難訓練の通り、机の下に入る、落下物のおそれがある場所から離れる、先生の指示に従うなどの確認を改めて行いました。ご家庭においても登下校時、夜間、休日等の地震発生時、それぞれのご家庭の実情や地域の様子を考慮しながら、どう対応すればいいのか、この機会にお話しただけようお願いたします。
- (2) 今回のような大きな地震等の災害時、学校では生徒やご家族の安否確認を第一に考え対応してまいります。生徒やご家族が怪我をした場合や家屋の損壊などの被害が発生した場合は、できるだけ早めに担任もしくは学校に連絡ください。また通学路や生徒がよく利用する場所（公園や運動場等）について普段と違う状況が発生しましたら併せてご連絡をお願いたします。
- (3) 地震発生時の状況によっては、地震に対する恐怖や不安から心身に不調を訴える生徒がいる可能性がありますので、健康観察や生徒の状況把握をより丁寧に行い、学級学年担任、養護教諭を中心に心身のケアに努めてまいります。
- (4) 寝室や子どもさんの部屋の高い所で、物が落ちてきたり、倒れたりする物がないか、この機会にご確認いただければ幸いです。

